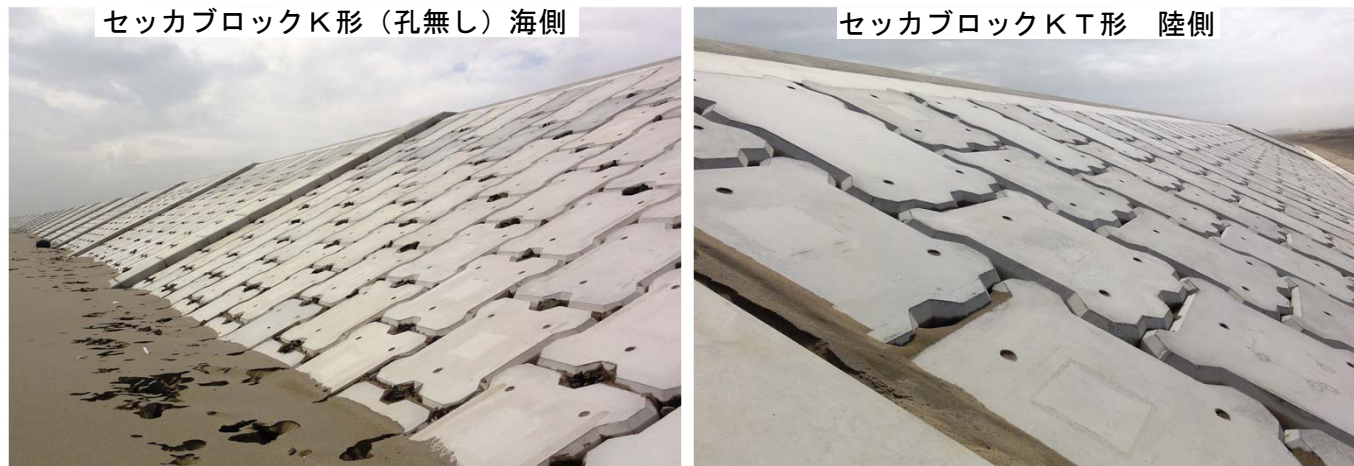


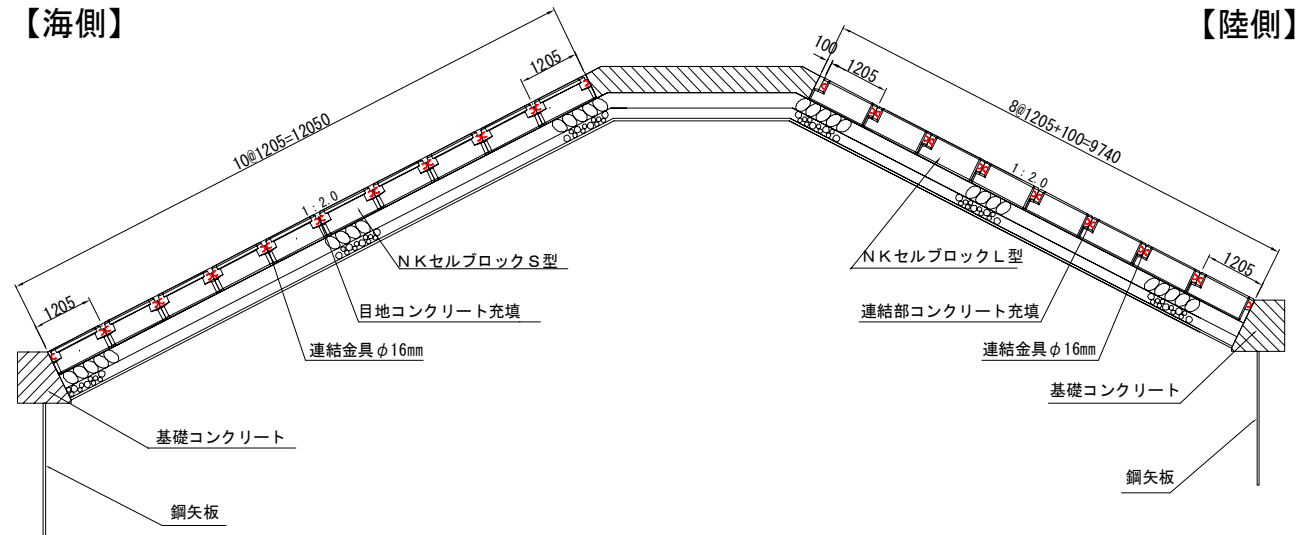
実績

東北地方整備局仙台河川国道事務所
仙台湾南部海岸



標準断面図

※不透過タイプ例
【海側】



〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-7 (ベルリビル) ☎ 03-3501-1010 (代)

<http://www.n-kohken.co.jp>

北日本支店	(札幌) 担当地域 北海道	☎ 011-271-4555
	〒060-0004 札幌市中央区北4条西6-1-1 (毎日札幌会館)	
東日本支店	(仙台) 担当地域 東北	☎ 022-227-2370
	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12 (GMビルディング)	
中日本支店	(東京) 担当地域 関東甲信越・富山・石川	☎ 03-3595-3595
	〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-7 (ベルリビル)	
	(名古屋) 担当地域 東海・近畿・福井	☎ 052-930-6556
	〒461-0004 名古屋市東区葵3-24-2 (第5オアシスビル)	
西日本支店	(福岡) 担当地域 中国・四国・九州・沖縄	☎ 092-432-9600
	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-11-15 (博多駅東口ビル)	
事務所・駐在所 青森・岩手・新潟・愛媛・高知・長崎・鹿児島		

詳細についてのお問合せは、上記までご連絡下さい。

対津波用堤防護岸被覆ブロック

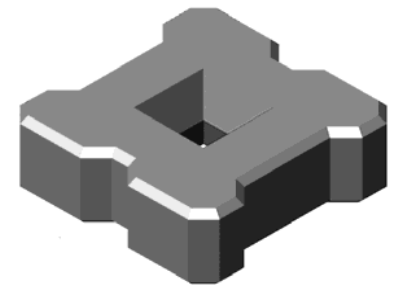
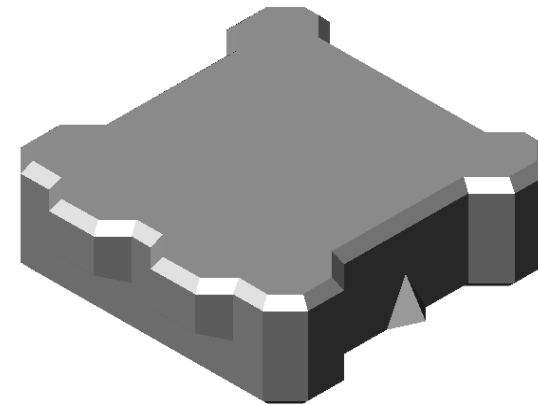
セッカブロック® K形, KT形
(現場製作用)

(透過型・不透過型構造陸側タイプ)

(透過型構造海側タイプ)

セッカブロックKT形

セッカブロックK形



セッカブロックK形 (孔無し)



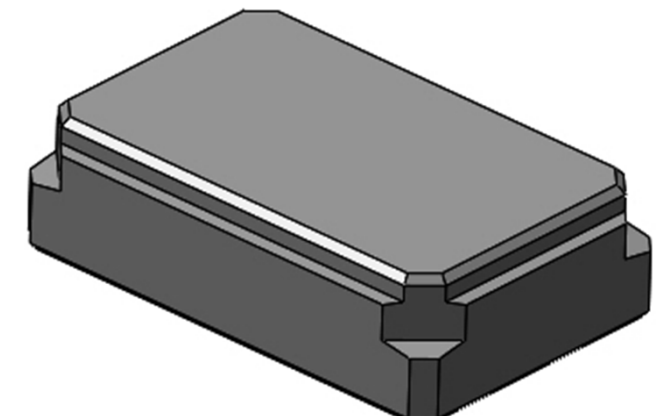
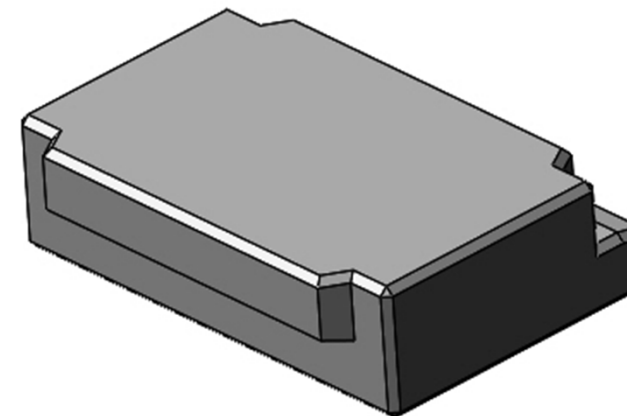
NKセルブロック®
(工場製作用)

(透過型・不透過型構造陸側タイプ)

(不透過型構造海側タイプ)

NKセルブロックL型

NKセルブロックS型



東日本大震災による大津波の教訓から、国は下記のような考え方で、津波対策用の指針を策定し東北地方で復旧工事を行っており、当社の開発した被覆ブロックも採用されております。

「粘り強い構造」の基本的な考え方

設計対象の津波高を超え、海岸堤防等の天端を越流した場合でも、施設の破壊、倒壊までの時間を少しでも長くする、あるいは、全壊に至る可能性を少しでも減らすことを目指した構造上の工夫を施すこと。

「基本構造」とは

①裏法尻部、裏法勾配

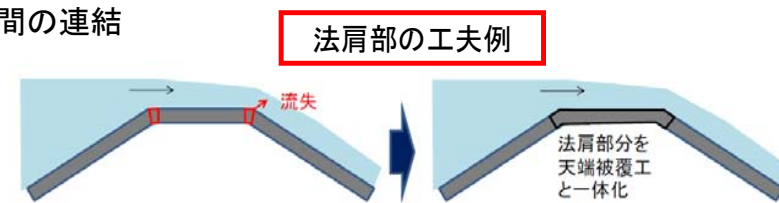
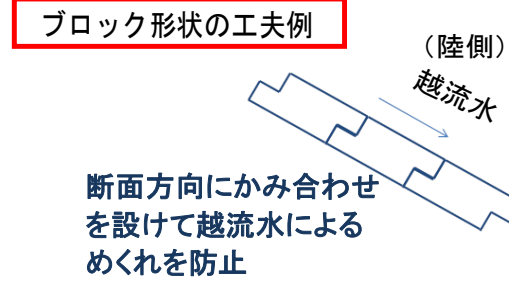
- ・裏法尻部に保護工を設置すること等により被覆
- ・裏法尻部の被覆に加え、裏法を緩勾配化（2割）

②天端保護工、裏法被覆工、表法被覆工

- ・天端保護工や裏法被覆工、表法被覆工の部材厚の確保（50cm以上）
- ・部材の実重量（2t以上）、部材間の連結

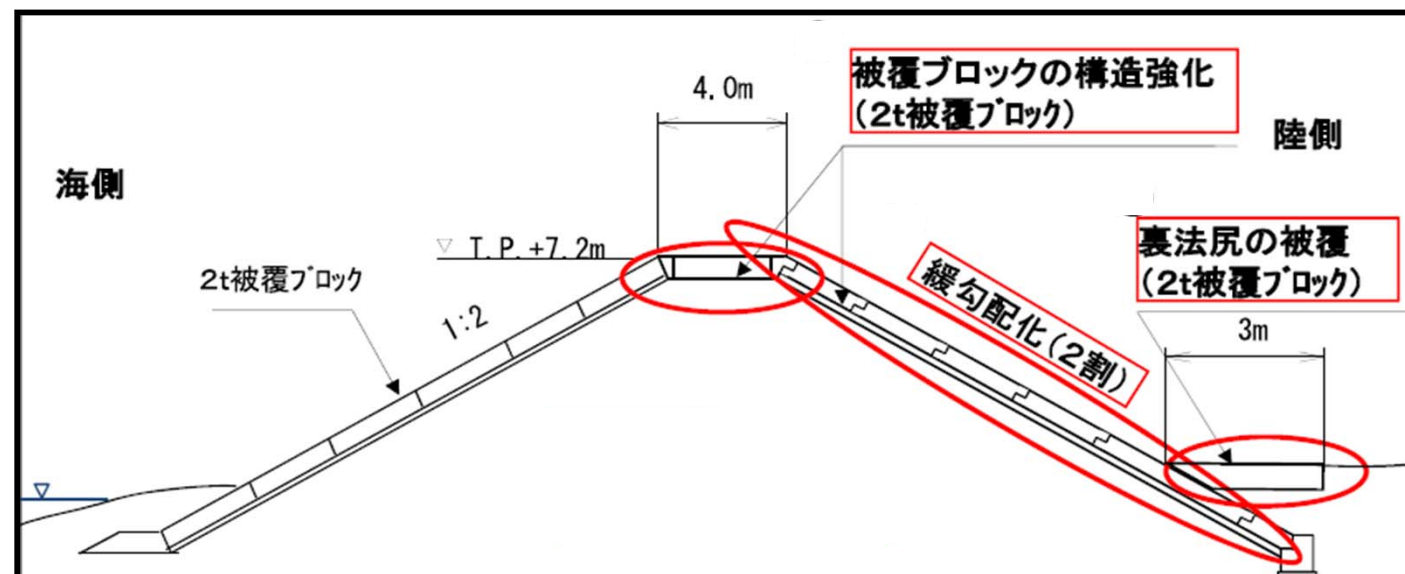
③波返し工の倒壊防止

- ・天端まで盛土構造とする工法（海岸堤防の設計外力を高潮ではなく津波とする場合）の検討
- ・波返し工を採用する場合の、配筋による補強



※平成23年東北地方太平洋沖地震および津波により被災した海岸堤防等の復旧に関する基本的な考え方（海岸における津波対策検討委員会）より

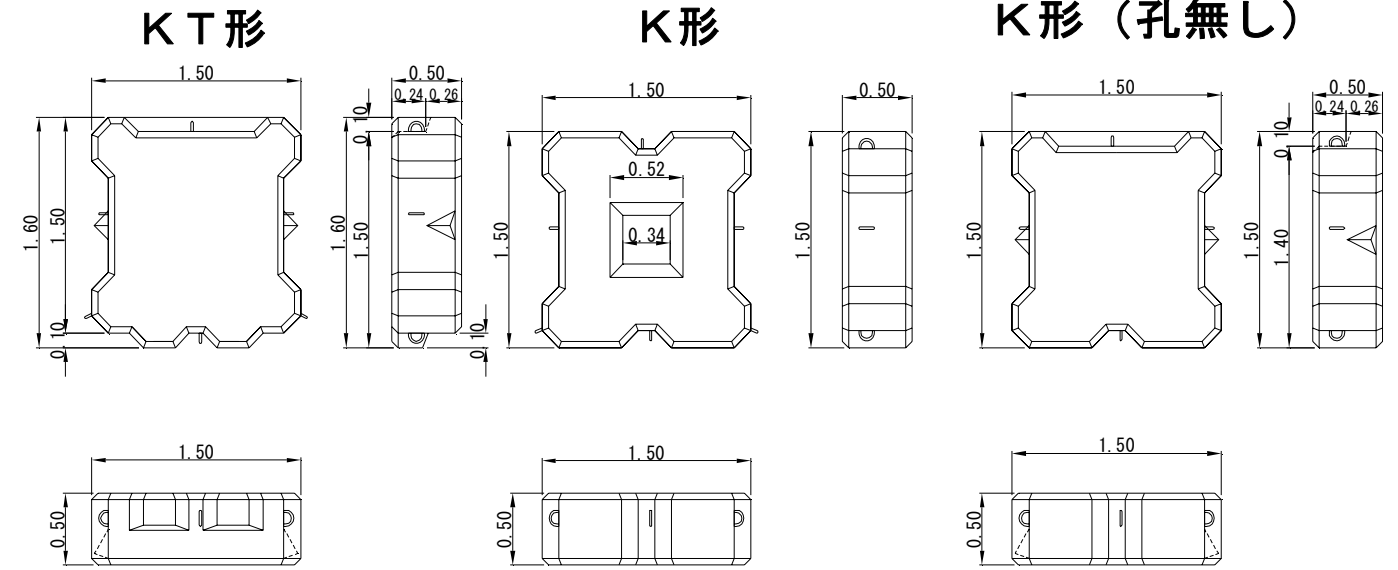
※技術報NO.1：粘り強く効果を発揮する海岸堤防の構造検討（第1報）国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部より



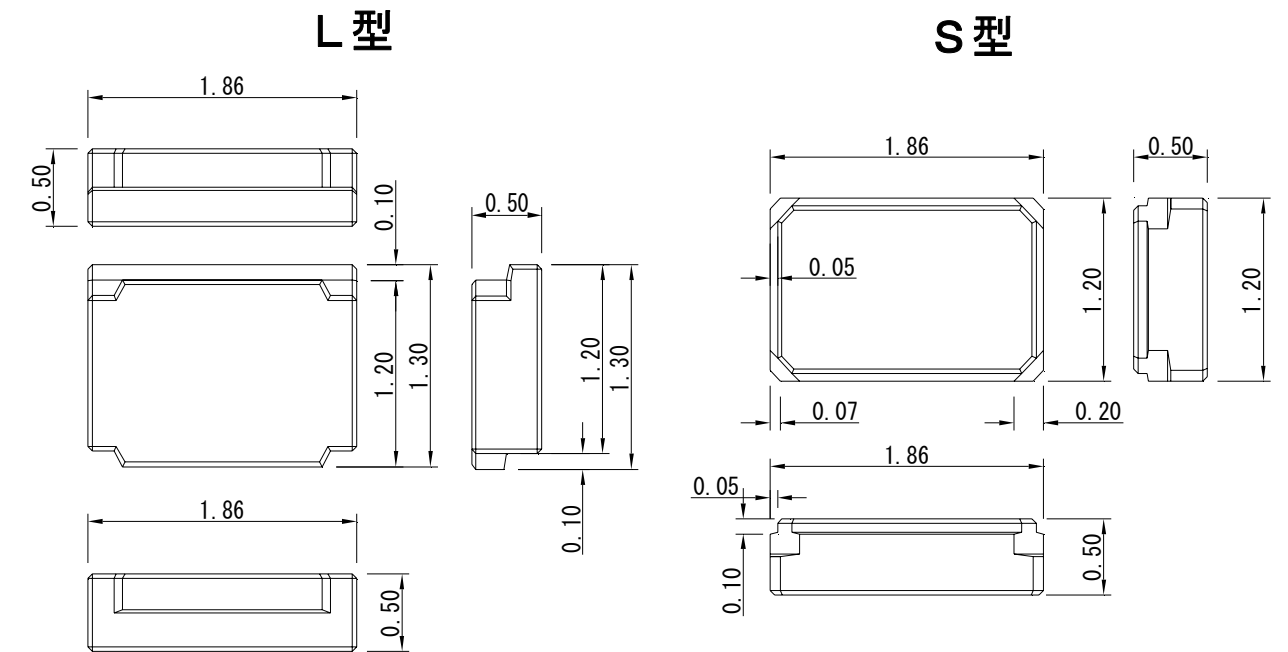
※仙台湾南部海岸における復旧堤防の基本構造（国土交通省水管理・国土保全局海岸室：「今後の海岸堤防等の整備について」より）

形状・諸元

(現場製作用)



(工場製作用)



※L型、S型は余裕幅5mmを加味し、横1.865×縦1.205で設計して下さい。

規格	実質量 (t)	体積 (m ³)	型枠面積 (m ²)	吊・連結鉄筋 (kg)
セッカブロックKT形	2.299	0.999	5.15	9.288
セッカブロックK形	2.027	0.881	5.62	9.288
〃 (孔無し)	2.251	0.979	5.01	9.288
NKセルブロックL型	2.496	1.085	5.39	7.204
NKセルブロックS型	2.454	1.067	5.02	7.204